

議会報告会 報告書

- 1 開催日時 令和6年11月14日（木）午後1時30分
- 2 会場 射水市役所 全員協議会室
- 3 テーマ 議員定数、報酬等について
- 4 対象者 地域振興会役員
- 5 参加者数 44人
- 6 出席議員 議長 中村 文隆
副議長 山崎 晋次
議会改革特別委員会委員長 高橋 久和
議会改革特別委員会専門部会委員 西尾 哲、金 賢志、
寺岡 伸清、高畑 吉成
- 7 参加者からの主な意見
 - ・人口も職員数も減っているのに、議員定数も減らしたほうがよいと思う。
 - ・人口が減少していくことが想定される中で、地域割や人口割で議員定数を決めるといったことも議論すべきではないか。
 - ・議員定数については、多いほうが地元の意見をくみ上げてもらえるのでよいと思うが、無投票となる場合は絞る必要があると思う。
 - ・議員のなり手不足対策は、議員報酬よりも議員の活動を魅力的なものにすべきではないか。議員定数を減らし議員報酬を増やせばよいと単純に見る傾向があるが、質をしっかりとし、市民に理解してもらえるようにしていくべきと思う。
 - ・議員報酬について、自助努力でお金を使わずに議員活動を行うことは可能であると思う。
 - ・最近では、民間でも報酬が上がっているため、議員報酬を上げることが適当と思う。
 - ・議員報酬を当初想定されていた50万円に戻さなければならないと感じた。

- ・議員報酬を現行から3万3千円引き上げるという意見について、この金額で社会保険料や年金は賄えるのか。自助努力では、議員に立候補する者がいなくなる。議員も生活していかなければならないので、理解してもらえるように各地域で市民に話をしてもらいたい。議員報酬を上げることについては、議員が当たり前の生活ができるように頑張ってもらいたい。
- ・議員報酬については、それなりの仕事をしてもらえれば、報酬が上がっても文句はない。
- ・市民向けの報告会を開催するという記事を読んだ。いろいろな機会を捉えて報告会をされると思っていたが、今回、地域振興会に限定した形で開催された。「市民に開かれた」と言うのは簡単だが、それを実践しなければ、なり手不足の解消につながらない。議会として積極的に市民の中に入っていたきたい。それを徹底して行っていけば、なり手も必ず出てくると思う。

8 議会報告会アンケート結果

(1) 回答人数 16人(回答率36.4%)

(2) 議会報告会に関する主な意見

- ・良かった。(2人)
- ・細かい表や資料があるとよい。
- ・文字だけでは硬いので、資料にイラストがあるとよい。
- ・今後、取り上げてほしい課題は、人口減少対策、買物難民対策、空き家対策、学校跡地についてである。
- ・今後、なぜ女性議員がいらないか検討してほしい。

(3) 議員定数、報酬等に関する主な意見

- ・報告内容に異論はない。(2人)
- ・定数は22人でよいと思う。(2人)
- ・定数削減、報酬増に賛成である。
- ・議員の担い手不足の自助努力が日常から必要と考える。
- ・定数については、人口、職員数の減少を考慮し、1人減とすべきと思う。
- ・報酬は若干の上昇は検討すべき。
- ・議員報酬50万円でも少ないと思う。この低年収が議員のなり手不足の原因の一つと思う。議員年金制度の廃止もなり手不足の原因の一つと思う。社会保障制度も必要である。

- ・議員報酬については、全国市議会議長会通知の基準に準じて算出すればよい。
46万円と切りのよい数字となっているが、1円単位で算出すればよいのではないか。報酬の高い低いではなく、それに見合った仕事をすればよいだけである。
- ・議員のなり手不足の課題があり、その掘り起こし対策も提案してほしい。
- ・議員定数、報酬を見直す必要性が分かりにくかった。重要な案件であり、密な報告を聞きたかった。
- ・議員の活動が住民に見えるような活動が望まれる。
- ・よく議論された内容であったが、議員の質を上げるための取組を強化してほしい。
- ・議員の情報公開をインターネット等を利用して簡単に見られるようにしてほしい。
- ・市民の意見を反映した条例等を数多く制定してほしい。
- ・市民に対しても議会報告会を開催してほしい。
- ・地域に分かりやすく説明してほしい。